

高齢社会の到来にどう対応し 取り組んでいくか

前向きに取り組む支援していく



岩田 秀一 議員

今まさに高齢化社会と
なっている。夫や妻に先
立たれ、子供たちは都会
に出て、一人で暮らして
いるお年寄りや配偶者を
介護しながら生活されて
いる方々など厳しい現状
はこの集落においても
見受けられる。住民の大
半は老後に大きな不安を
持っているが、町長はこ
のような高齢社会に伴う
お年寄りの生活の現状を
どう捉え考えているか。

地域全体で取り組み 支援していく

町長

本町の高齢化率は今
30・5%となっている。
年々高齢化が進んでいる
状況にある。中でも一人
暮らしのお年寄りや、お
年寄り夫婦だけの世帯、
障害者の世帯等、援助を

必要とする方も増えてき
ている。このような方々
に対し、現在も福祉給食
をはじめ高齢者対策事業
に取り組んでいる。地域
全体で支えていく体制づ
くりも大事である。行政
でできることは積極的に
支援していく。

台風災害時の見守り 避難体制づくりは できないか

岩田議員

一人暮らしや障害者等
が一番恐く、寂しい思い
をされるのが台風シーズ
ンである。子供たちが近
隣にいない一人暮らしの
お年寄り、障害者等に対
し、台風が上陸する恐れ
があるとき、声かけや避
難をさせる必要があると
きは避難所まで連れて行
けるような対応や体制づ
くりはできないか。

調査を進め 取り組んでいく

町長

これからの高齢化を考

えると、大切なことだと
思う。現在、自治公民館
長に「一人では避難する
ことができないと思われ
る高齢者等」の調査をお
願いしており、重要なこ
となので体制づくりに取
り組んでいく。

出張心配事相談の 開設はできないか

岩田議員

一人暮らしのお年寄り
や、障害者の方々の中
には心配事相談に行きた
くても車がない、運転が
出ない方々も多くおられ
る。このような方々に対
し、相談員が直接自宅ま
で出向き相談にのること
はできないか。

直接出向き 対応していく

町長

交通手段のないお年寄
りの心配事相談に対して
は、電話での相談も考え
られるが、要望があれば
訪問し相談に応じる。

通報チラシの 作成・配布は できないか

岩田議員

お年寄りに限らず、災
害や急病となると通報す
るのに大変あわてる。特
にお年寄りはどこへ通報
して良いか迷うこともあ
り、落ち着いて通報でき
ず大きな災害や事故等
につながる可能性もある。
そこで大きな活字でわか

りやすい通報チラシをつ
くり配布できないか。

町長

大規模災害に備え、高
齢者等の避難誘導や安否
の確認が確実に行われる
よう災害時要援護者、避
難支援プランの策定を計
画しているところである。
現在、対象者を把握する
ため調査している。消防

前向きに検討していく



ふれあい・生きがいくりの高齢者講座

団や関係
団体と連
携を図り
ながら災
害時の避
難支援に
努めるこ
とにして
おり、対
象者の台
帳ができ
たらチラ
シ作成に
ついても
前向きに
検討して
いく。